

給食だより

令和4年9月

旭志小親子給食室

非常食を給食で食べました

9月1日は、防災の日でした。その日を含む8月30日から9月5日までは、防災週間と定められています。9月1日が防災の日となったのは、1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんでいます。この時期は、災害について考えたり、備えの点検などをおこないましょう。

そういうわけで、9月1日の給食は非常食を食べる練習かねて、レトルトパックに入ったカレーを給食に出しました。



にんてい
南大立

- ・救給カレー
- ・牛乳
- ・だんご汁
- ・バナナ
- ・マンゴープリン

救給カレーは、東日本大震災がきっかけとなり、学校給食向けの非常食として作られたものです。アレルギーがある人でも心配なく食べられるように、特定の28品目のアレルギーが不使用となっています。

「非常食」を「日常食」へ

一昔前の備蓄の定番といえば、乾パンやアルファ化米の白ごはん、カップラーメン、缶詰などでしたが、近年、災害が頻発し、非常食を食べる機会が増えていたり、非常食の種類も多種多様になってきました。そのため、最近はそのご家庭でも、非常食の備蓄が以前よりも進んでいるかとは思いますが、「賞味期限を見ているか」というと、確認できていないところも多いかと思いますが、そこで、定期的にストック品を食べながら食べた分を買い足す「ローリングストック」が重要になります。日常的に食べながら、賞味期限切れを防ぎ、非常食に食べ慣れておくというよい点があります。不安な時に食べ慣れないものを食べることは、ストレスがたまりますので、ぜひ、お気に入りの味をみつけて備蓄しておきましょう。

ローリングストック

おま
多めにストック



ときどき
時々食べる

減った分を
買う



今回の救給カレーは、一昨年度から給食室に備蓄していたものです。今回提供したのは賞味期限が近くなっていたため、切れる前に、防災の日に合わせて放出することになりました。今回実際に食べることで、食べる体験と非常食についての学習ができました。

何事も起こっていない今、家族で避難や備蓄についてなど話し合いをしておかれることをおすすめします。